

デジタルデータ活用による商店街等活性化検討会の全体像

具体的な取組

① 「デジタルデータ収集・分析基盤」と「分析システム」のあり方の検討

- より正確な「**商店街通行量データ**」の取得方法等の検討
- 他に収集すべき（人流データと掛け合わせる）データの種類等の検討
 - ・標準的に収集するデータ、業種等によりオプション的に収集するデータのサビ分け
- 標準サービスとして提供するデータ収集・分析基盤の検討

② 産学官民の連携・共創により、データを活用した「活性化モデル」や「新ビジネス創出」の検討

③ 高知工科大学新学群(R6.4開設予定)と強力に連携 → 商店街を研究開発や実習のフィールド（テストベッド）として活用

④ これらの成果を「県内他の地域」や「他の分野（観光・公共交通・まちづくり等）」に応用・展開を図る

デジタルデータを活用した
商店街活性化の
モデル事例を創出

商店街×産学官民

R4年度

R5年度～

有識者・関係者による検討会

R4.9設立

県

資料5

<ステップ.Ⅰ>

効果的なデータ収集の仕組みや収集すべきデータの種類等の検討
(システムの仕様、概算費用を含む)

県：予算要求 ※市にも要請
(R5当初orR4補正)

<ステップ.Ⅱ>

データ活用のイメージ・プランの検討
先進事例の紹介・共有

【フェーズⅠ】

検討の具体化（実証実験、製品開発、社会実装）

<ステップ.Ⅲ>

他分野（観光・交通等）・行政分野への
応用・展開について必要な事項等を検討

【フェーズⅡ】

展開・応用

・他分野・行政分野における活用の具体的検討（実証実験、製品開発、社会実装）

・システムの調達（公募）
・業者選定
・設置、導入

商店街関係者

IoTラボ
会員企業

R5夏～秋頃予定

・システム稼働

→ 人流データ計測

→ 実証実験

→ 本格導入

R6.4以降

高知工科大学
新学群

教員・学生

教員・学生

観光関係者

交通関係者

〇〇〇関係者

商店街・個店・関係企業等による取り組みをサポート

支援策の検討 ⇒ 予算要求
・データ基盤構築（再掲）
・デジタル人材の育成
・実証実験、製品開発
・先駆的に取り組む企業に対する支援
→モデル事例の創出
などを検討